

# 7月の予定

# 8月の予定

日	曜	校内の予定	日	曜	校内の予定
2	月	安全の日	1	水	プール開放②～8/10⑧
3	火	商店訪問	3	金	研究全体会
4	水	2年弁当日 3年オードブル給食 3年出前講座	17	金	プール開放⑨
6	金	6年市民プール練習	19	日	PTA早朝作業 西村山PTA研修会(寒河江)
7	土	4年ビオトープ作業 2学年行事	21	火	2学期始業式 給食開始
10	火	市水泳大会壮行式	24	金	午前B日課 全校応援練習～29日
11	水	市水泳大会(6年)	30	木	運動会総練習
12	木	学校保健委員会 クラブ			
13	金	山響音楽教室 みなみおはなしかご			
16	月	<祝>海の日			
18	水	通学班会			
20	金	見守りボランティアの方との懇話会			
21	土	1年ビオトープ作業			
24	火	校内水泳記録会・通知表配付・学級懇談会			
25	水	1学期終業式 研究全体会			
26	木	カッパ教室 1学期学校評価会議			
27	金	カッパ教室 備品整理 職員作業			
30	月	プール開放開始① 諸帳簿提出			
31	火	市教研所全体講演会			

## ～学校評議委員会～



■6月5日に学校評議委員会を行いました。会議の前に各学級の授業参観をしていただき、子どもたちの様子も見て話し合いをしました。最初に校長より学校経営方針についての説明後、委員さんから貴重なご意見をいただきました。

### ●あいさつについて

自分からあいさつをしてくれる子どもが増えてきた。大人の方からあいさつをすると、子どももどんどんあいさつをしてくれる。

### ●学校あんしんメールについて

機会をとらえて、たくさんの保護者が設定してくれるようお願いしたい。

### ●気になること

車を怖がらない子ども達がいる様子が心配である。自転車乗りや歩くとき一時停止ができない子が目立つ。ヘルメットの着用率が良くなっている。ゲームに夢中になりすぎる点が心配である。

### ●読書、読み聞かせについて

みなみおはなしかご、読書推進員の方とも連携をとりながら本好きな子を育ててもらいたい。

## 花咲かフェア・トロッコ列車で 南部太鼓披露



■6月23日に花咲かフェアで5年生20名が力強い太鼓を披露しました。今回が5年生の初舞台になります。6年生から教えてもらって受け継いだ南部太鼓が会場に響きました。■その後、寒河江駅に移動しトロッコ列車の到着に合わせ、ホームで太鼓を演奏し、たくさんの観光客から拍手をもらいました。

平成24年度



# 南部っ子



★★★★★★★★★★★★★

発行日 平成24年7月1日

発行所 寒河江市立南部小学校

★★★★★★★★★★★★★

学校目標

学び確かに 心豊かに 体健やかに



## しあわせ 指数 !



昨年3月の大震災の時、「本当のしあわせって何だろう？」といろいろ考えさせられました。そして子どもたちに「本当のしあわせ」を伝えていくのが大人の役割、ということも改めて考えさせられました。

また、昨年11月にブータン王国ワンチュク国王夫妻が来日した際に、「しあわせ指数、世界ー！」などと新聞テレビなどでブータン王国が紹介されました。山岳地帯でたとえ不便でも自然環境を守り、互いに優しく思いやりがある国民性は、国民の95%がしあわせだと答える国だということです…。

先日、校内で地域の代表の方々が集まっていたいて開いたある会議の席上、「こちらが元気にあいさつをしていたら、だんだん子どもたちも元気なあいさつを返してくれるようになった。」と、うれしそうに意見を述べてくださった方がおられました。

そのとき、「これこそ大人のかかわり方だ！」と教えられました。「地域全体で子どもをはぐむ！」ということ、子どもに「あいさつは大事」と指導するばかりでなく、こちらから手本を見せて、あるべき姿を示す、つまり良い見本を見せて、まねしてできるように「感化」することが大切なんだと教えられた気がします。

さて、寒河江市では、昨年度に「さがえっこ育みアクションプラン」を策定し、学校と家庭・地域が連携し、社会全体で子どもたちを育もうと各課が連携し合い、各方面と協力し合いプランを推進しています。

アクションプランは10か条あるのですが、現在南部小学校では「あいさつ」「読書」「生活リズム」の3点を重点と捉えて推進しています。

その中の「あいさつ」における、学校と家庭・地域の連携を考えた場合、学校であいさつの意義などを指導し、本校職員を含め家庭や地域の周りの大人が、大人から進んであいさつを通して子どもたちに関わってくれる、そんな連携のあり方をイメージします。そして、今以上にいつか大人も子どももあいさつを交わし合うのが当たり前の南部地区になったら、互いに信頼関係が増し、優しさや思いやりが高まり、子どもたちだけでなく、南部地区全体の「しあわせ指数」が今以上に高くなるのではないかと考えられます。

つまり、それぞれが忙しく、なかなかゆとりが持てない現代の社会ですが、「あいさつ」を通して人と人が関わり合い、それを通して地域の人々の「かかわり」「絆(きずな)」を強くすることができたら、ブータン王国に負けない「しあわせ指数の高い、素敵な南部地区にすることができる」のではないかと思います。

一見、夢みたくない話ですが、夢を叶えるのは私たち大人の役割です。そんな夢を実現する第一歩は、「私たち大人から子どもたちにあいさつをしよう！」運動を進めることだと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

(校長 菊地宏哉)